

にっぽんの温泉特集

環境省 最新版「温泉利用状況」

環境省がまとめた最新の「温泉利用状況」によると、2012年4月時点での温泉地数は全国で2689カ所だった。前年同月時点比は、18カ所減ったことが分かった。

源泉総数は同じカ所減の2万7899カ所。9カ所別では大分県が994カ所と断トツの多さを誇る。2位以降は、鹿児島県(224カ所)、北海道(223カ所)、北海(219カ所)、静岡県(218カ所)、熊本県(133カ所)と続いた。

2024年度
温泉地数は2839カ所
前年から18カ所減少

(2025年3月末現在)

温泉地数		源泉数		湧出量 L/分			宿泊施設数	収容定員	年度延べ宿泊利用人数	
		源泉総数 (未利用含む)	利用源泉数	合計	自噴	動力				
北海道	226	2,249	405	879	189,888	37,315	152,573	740	124,348	13,579,988
青森県	120	1,089	101	449	139,808	11,701	128,107	216	20,791	1,453,144
岩手県	81	393	81	145	111,915	62,380	49,535	227	24,110	1,839,235
宮城県	39	740	195	214	28,178	4,437	23,741	252	30,241	2,165,708
秋田県	104	616	184	192	79,766	29,706	50,060	203	15,275	1,441,551
山形県	67	412	104	159	44,887	15,555	29,332	252	23,250	1,950,757
福島県	122	799	136	282	76,291	27,451	48,840	474	47,820	3,622,686
茨城県	39	157	9	79	22,704	4,927	17,777	74	8,509	807,618
栃木県	66	633	166	279	61,243	18,403	42,840	414	51,235	4,296,081
群馬県	98	459	161	202	53,904	26,063	27,841	631	45,465	5,925,649
埼玉県	31	117	12	83	15,530	514	15,016	53	6,676	832,181
千葉県	95	144	24	117	10,606	811	9,795	188	53,809	3,718,331
東京都	22	168	5	133	30,966	275	30,691	41	13,950	614,330
神奈川県	36	602	73	368	33,306	6,994	26,312	586	61,479	5,372,379
新潟県	135	536	139	226	64,634	15,073	49,561	490	56,527	3,539,773
富山県	61	169	52	74	29,181	17,800	11,381	115	14,152	1,065,840
石川県	48	330	16	169	30,972	1,000	29,972	191	27,319	2,520,828
福井県	38	158	6	90	7,347	820	6,527	125	22,124	1,208,819
山梨県	29	304	82	144	35,946	15,828	20,118	208	23,624	3,098,074
長野県	193	955	250	386	106,110	39,553	66,557	998	86,234	7,081,036
岐阜県	55	506	45	214	68,270	12,749	55,521	331	29,763	3,509,965
静岡県	118	2,185	98	1,065	109,955	12,284	97,671	2,397	119,134	10,576,818
愛知県	35	133	8	80	15,539	136	15,403	90	12,656	1,450,965
三重県	74	214	16	146	47,520	2,440	45,080	363	45,386	2,788,134
滋賀県	27	86	8	46	11,126	2,122	9,004	56	9,870	1,188,173
京都府	37	146	8	85	16,713	443	16,270	182	13,915	1,757,764
大阪府	17	173	5	109	35,121	551	34,570	42	13,382	2,366,149
兵庫県	78	443	37	225	46,371	4,899	41,472	322	37,504	4,742,639
奈良県	34	77	8	55	6,864	807	6,057	73	8,319	758,293
和歌山県	50	506	50	198	58,206	16,520	41,686	364	33,344	3,146,594
鳥取県	15	363	19	153	17,664	208	17,456	100	13,065	1,113,316
島根県	41	267	72	80	33,320	14,436	18,884	106	12,429	1,219,750
岡山県	32	221	36	73	21,830	4,409	17,421	81	8,196	683,138
広島県	56	374	17	179	33,282	3,308	29,974	75	9,005	791,445
山口県	40	404	24	182	21,739	3,023	18,716	131	11,174	1,497,757
徳島県	25	82	12	34	7,313	827	6,486	29	3,445	453,168
香川県	28	200	1	82	9,862	305	9,657	55	10,258	1,253,690
愛媛県	37	192	22	96	18,019	5,217	12,802	97	10,833	1,553,354
高知県	37	96	3	42	2,595	131	2,464	73	5,561	528,915
福岡県	46	422	6	210	53,956	412	53,544	97	11,768	1,571,522
佐賀県	21	187	4	111	21,529	1,171	20,358	86	8,951	986,909
長崎県	37	203	70	92	26,481	7,232	19,249	94	13,740	1,625,109
熊本県	55	1,339	142	586	129,598	23,500	106,098	392	30,400	2,653,596
大分県	63	5,094	851	2,924	293,610	136,409	157,201	914	48,623	5,495,869
宮崎県	29	199	19	125	25,387	3,120	22,267	67	8,696	1,038,810
鹿児島県	87	2,735	322	880	167,150	68,648	98,502	311	25,754	2,136,643
沖縄県	15	22	2	20	5,411	1,580	3,831	19	12,696	2,391,987
2024年度計	2,839	27,899	4,106	12,762	2,477,713	663,493	1,814,220	13,425	1,324,805	125,414,300
2023年度計	2,857	27,920	4,111	12,849	2,496,157	667,434	1,828,723	13,179	1,326,618	120,705,968
比較増減	-18	-21	-5	-87	-18,444	-3,941	-14,503	246	-1,813	4,708,332
対前年度比	99.4	99.9	99.9	99.3	99.3	99.4	99.2	101.9	99.9	103.9

(注) 1. 温泉地数は宿泊施設のある場所を計上
2. 宿泊利用人員は参考数値

環境省は「温泉水利用状況の経年変化表」も公表している。2009年度までの数は6年連続で減少。2010年度は前年度に比べて13.2%増で減少が止まった。一方、同期間減少した温泉水の宿泊施設利用数を見てみると、19年数を見てみると、19年から21年度までは減少が続いた一方、23年度以降は増加傾向にあり、2021年度と同様の1万3,300人程度に回復した。年度別宿泊利用人員もそれと比例するかのようだが、前年度から連続で前年度を上回ったのは1億5,414万3,300人が2021年度に用いたことが分かった。

2000年度以降経年変化

温泉地数は19年度から減
宿泊数は22年度以降回復

(2025年3月末現在)

	温泉地数	源泉総数 (未利用含む)	利用源泉数		湧 出 量 L／分			宿泊施設数	収容定員	年度延べ宿泊 利用人数
			自噴	動力	合計	自噴	動力			
2000年度	2,988	26,505	5,164	12,873	2,637,080	827,918	1,809,162	15,512	1,363,017	137,525,810
2001年度	3,023	26,796	5,186	13,063	2,610,547	819,328	1,791,219	15,558	1,373,318	137,097,634
2002年度	3,102	27,043	5,180	13,328	2,669,520	813,023	1,856,497	15,389	1,384,302	137,935,709
2003年度	3,127	27,347	5,189	13,559	2,681,178	800,891	1,880,287	15,390	1,387,981	136,285,534
2004年度	3,114	27,644	5,120	13,805	2,712,140	775,642	1,936,498	15,332	1,408,683	135,867,119
2005年度	3,162	27,866	5,149	13,975	2,761,300	831,640	1,929,660	15,024	1,413,088	136,613,954
2006年度	3,157	28,154	5,122	14,115	2,777,894	822,755	1,955,139	15,024	1,431,504	137,088,966
2007年度	3,139	28,090	5,097	14,108	2,799,418	821,438	1,977,980	14,907	1,410,100	135,872,728
2008年度	3,133	28,033	4,874	13,997	2,772,022	800,338	1,971,684	14,787	1,415,597	132,677,295
2009年度	3,170	27,825	4,711	13,930	2,752,259	793,482	1,958,776	14,294	1,407,164	127,929,516
2010年度	3,185	27,671	4,460	13,476	2,686,559	760,024	1,926,535	14,052	1,411,884	124,925,272
2011年度	3,108	27,532	4,413	13,396	2,681,673	738,111	1,943,562	13,754	1,394,107	120,061,329
2012年度	3,085	27,219	4,286	13,354	2,588,195	677,432	1,910,763	13,521	1,373,508	124,695,579
2013年度	3,098	27,405	4,260	13,394	2,642,705	726,357	1,916,348	13,358	1,377,387	126,422,229
2014年度	3,088	27,367	4,142	13,181	2,630,428	733,740	1,896,687	13,278	1,377,591	127,974,837
2015年度	3,084	27,213	4,075	13,081	2,574,114	686,426	1,887,687	13,108	1,371,063	132,064,038
2016年度	3,038	27,421	4,117	13,100	2,564,123	684,096	1,880,027	13,008	1,354,607	130,127,812
2017年度	2,983	27,297	4,172	13,035	2,546,813	679,732	1,867,081	12,860	1,344,954	130,567,782
2018年度	2,982	27,283	4,126	12,957	2,518,971	676,267	1,842,704	12,875	1,323,011	130,563,552
2019年度	2,971	27,969	4,079	13,114	2,518,113	667,549	1,850,564	13,050	1,339,237	126,529,082
2020年度	2,934	27,969	4,056	13,030	2,534,086	680,412	1,853,675	12,924	1,313,024	76,592,711
2021年度	2,900	27,915	4,021	13,004	2,519,064	671,354	1,847,710	12,904	1,316,828	78,038,804
2022年度	2,879	27,932	4,100	12,921	2,515,272	672,510	1,842,762	12,999	1,330,203	108,872,804
2023年度	2,857	27,920	4,111	12,849	2,496,157	667,434	1,828,723	13,179	1,326,618	120,705,968
2024年度	2,839	27,899	4,106	12,762	2,477,713	663,493	1,814,220	13,425	1,324,805	125,414,300

(注) 1. 温泉地数は宿泊施設のある場所を計上
2. 宿泊利用人員は参考数値

3. 湧出量合計は2013年度から追加

長崎県雲仙市

雲仙温泉

[illegible]

雲仙地獄のエネ
ルギー源は、長崎
半島東岸と島原半
島西岸に囲まれた
橘湾の海底のマグ
マだまりと考えら
れている。このマ
グマだまりから發
生した高温高压の
ガスは、岩盤の裂
け目を通って上昇
し、その途中で化
学反応を起こして
いったん高温熱水

標高700^{メートル}の高原リゾート

雲仙温泉全景

田峠は、春にミヤナマキリシマ、夏に新緑、秋に紅葉、冬に霧氷と、四季折々の自然を感じられる人気のスポット。峠までは全長1.3kmのスカイラインが通じ、途中小キヤノンキの樹林を縫い、有明海、橘湾の海沿美や九重連山の眺望を楽しみながら快適なドライブができる。峠の駐車場からは標高3,333mのこののめ山頂を結ぶロープウェイが運行。半島と海の雄大な景色を望める。空ののめを散歩を楽しむ。

火山としての肥沃な土地に恵まれ雲仙は、食の宝庫でもある。多種多様な農産物が作られ、山間部では酪農が盛ん。温泉水を活用した蒸気を使った料理理なると、新たな多物「雲仙ハヤシ」が近年、売り出されいている。

温泉街に近い田峠は、春にミヤナマキリシマ、夏に新緑、秋に紅葉、冬に霧氷と、四季折々の自然を感じられる人気のスポット。峠までは全長1.3kmのスカイラインが通じ、途中小キヤノンキの樹林を縫い、有明海、橘湾の海沿美や九重連山の眺望を楽しみながら快適なドライブができる。峠の駐車場からは標高3,333mのこののめ山頂を結ぶロープウェイが運行。半島と海の雄大な景色を望める。空ののめを散歩を楽しむ。

火山としての肥沃な土地に恵まれ雲仙は、食の宝庫でもある。多種多様な農産物が作られ、山間部では酪農が盛ん。温泉水を活用した蒸気を使った料理理なると、新たな多物「雲仙ハヤシ」が近年、売り出されいている。

温泉街の旅館・ホテルが利用し、自然を活用したポライーらずのエコなシステとして古くから定着して

雲仙の温泉は、このガスと周りの山からの地下水が混ざり合って生成されたもの。泉質は硫酸酸性の硫黄泉で、強い酸性を示す。最高温度98度。主成分は鉄イオンアルミニウムイオン、硫酸イオンで、リウマチ、糖尿病、皮膚病に特に効果があると考えられる。

地獄の熱を利用して温湯をつくる「かんづけ」は、この地ならではのシステム。温泉街の旅館・ホテルが利用し、自然を活用したポライーらずのエコなシステとして古くから定着して



となる。その熱水の沸騰により生じたガスが激しい噴気となって現れているという。

雲仙の温泉は、このガスと周りの山からの地下水が混ざり合って生成されたもの。泉質は硫酸酸性の硫黄泉で、強い酸性を示す。最高温度98度。主成分は鉄イオンアルミニウムイオン、硫酸イオンで、リウマチ、糖尿病、皮膚病に特に効果があると考えられる。

地獄の熱を利用して温湯をつくる「かんづけ」は、この地ならではのシステム。温泉街の旅館・ホテルが利用し、自然を活用したポライーらずのエコなシステとして古くから定着して

霧島温泉郷

つづく、霧島。雄大な霧島
「天孫臨」の神話が息
「霧島市には個性豊かな
四つの温泉郷」が点在す
連山の麓には、古より人
々の心と体を癒やし続けて
きた豊かな温泉郷が広がっ
ている。しかし、霧島の魅
力は神話だけではない。昨
年の新燃岳噴火に伴う不安
や8月の大雨災害による甚
大な被害。困難に直面し
ながらも、霧島は地域の絆を
深め、今、力強く再生の歩
みを進めている。

まずは、大小九つの温泉
が建なる「霧島温泉郷」。環
境省の国民保養温泉地に指
定されており、四季折々の
絶景を望む湯の街として
多くの登山客や観光客を迎
え続けている。

そして、国宝・霧島神宮
に寄り添う「霧島神宮温泉
郷」。荘厳な空気に包まれ

参拝後の心
 身を静かに
 解きほぐし
 てくれる。
 名湯の歴
 史を刻む
 「妙見・安
 楽温泉郷」。
 天降川の清
 流沿いに宿
 が並び、川
 のせららぎ
 と野趣あふ
 れる湯が旅
 りを癒やす。
 幕末の

志士・坂本

大小九つの温泉が連なる「霧島温泉郷」

四つの温泉郷が奏でる復興の調べ

霧島神宮の紅葉



龍宮が愛妻お龍との新婚旅行で訪れた「塩塚温泉」もこのエリアにあり、当時の息吹を感じることができると、

最後に、古くから湯治場として栄えた「日当山温泉郷」。西郷隆盛も愛した湯郷は、今も地元の人々の日常に溶け込み、変わらぬ温かさをもたらしている。

四つの温泉郷は、それぞれ泉質が異なり、単純温泉から硫黄泉、炭酸水素塩泉まで、全国屈指の多様性を誇る。被災直後、地域全体で、全国屈指の多様性を誇る。被災直後、地域全体で、

が暗い影を落す中、地元の人々が声掛け合い、温泉の灯を絶やさぬよう努力を重ねてきた姿こそが、現在の霧島の「一番の魅力」であるといえる。今年、霧島を訪れる人々には、ぜひ「各温泉郷を巡る湯めぐり」を楽しんでほしい。

アクセス面でも利便性は向上。2024年7月からは、鹿児島空港から霧島温泉郷、霧島神宮、そして同年3月にリニューアルしたJR霧島神宮駅を乗り換えなしで結ぶ「霧島神宮アクセスバス」が運行を開始し、より快適に霧島を周遊できるようになった。

宿や飲食店は、被災を乗り越えた地元の温かいおもてなしが待っている。霧島泉や黒猪、そして豊かな土壌が育んだ新鮮な野菜や旬の味覚。復興への願いを込めたこれらの恵みは、訪れる人の心に深く染み渡るはずだ。

また、霧島連山の登山やトレッキングも、以前と変わらぬ雄大な姿。登山客を迎えている。自然の威厳を経験したからこそ、改めて感じる「自然と共に生きる尊厳」が、ここにはある。

霧島の温泉は、ただ体を温めるだけではない。地域の人々の「待っていたよ」という思いが、旅人の心を芯から温め直してくれる。この夏、ぜひ霧島へ足を運び、四つの温泉郷が奏でる「復興の調べ」と、神話の地が奏する癒やしの時間を存分に味わってほしい。

鹿兒島県指宿市

指宿温泉

端、指宿市に湧く、指宿川。その歴史は古く、1543年に建立された石碑に「方柱板碑」には湯温宿の文字が刻まれており、戦国時代にはすでに豊かな湯に恵まれた地であったことがうかがえる。

果は一般的な温泉の3〜4

波音を聞きながら身を委ね、砂むしを終えた後の爽快感は格別だ。

世界唯一の「砂むし」 南国グルメに舌鼓

世界で唯一、天然の砂むし温泉を楽しめる

入浴以外の設備も充実
でも温泉を楽しむには、市内には癒やしとレジャーを兼ね備えた温泉施設も充実し、注目を集めている。昨秋にリニューアルした市営温泉施設「ヘルシラ」は、またて箱温泉」はこの絶景露天風呂が名物。眼下に広がる大海原と開闢岳を一望できる和風の露天風呂と、「スノーピー山」の愛称で知られる竹山と海を見渡せる洋風の露天風呂があり、男女日替わり制。和

入浴以外の設備も充実
でも温泉を楽しむには、市内には癒やしとレジャーを兼ね備えた温泉施設も充実し、注目を集めている。昨秋にリニューアルした市営温泉施設「ヘルシラ」は、またて箱温泉」はこの絶景露天風呂が名物。眼下に広がる大海原と開闢岳を一望できる和風の露天風呂と、「スノーピー山」の愛称で知られる竹山と海を見渡せる洋風の露天風呂があり、男女日替わり制。和

入浴以外の設備も充実
でも温泉を楽しむには、市内には癒やしとレジャーを兼ね備えた温泉施設も充実し、注目を集めている。昨秋にリニューアルした市営温泉施設「ヘルシラ」は、またて箱温泉」はこの絶景露天風呂が名物。眼下に広がる大海原と開闢岳を一望できる和風の露天風呂と、「スノーピー山」の愛称で知られる竹山と海を見渡せる洋風の露天風呂があり、男女日替わり制。和